



北東中だより

甲府市立北東中学校
令和5年1月27日
文責 竜澤 規之
NO. 11 (1月号)

3学期がスタートしました！

新しい年を迎えるとともに、3学期がスタートし、数週間が経ちました。学校では一年のまとめの時期、3年生にとっては中学校生活の総まとめの時期を迎え、来年度の準備も着々と進んでいます。右の写真は、今年の元旦に撮った初日の出です。燃えるような真っ赤な太陽が、力強く、ゆっくりと昇っていく様子を見て、この一年が素晴らしい年になるようにと願いました。

元旦の初日の出
(荒川河川敷にて)



今年も正月の風物詩である箱根駅伝が開催され、駒澤大学の3冠が話題になりました。一本のたすきを、気持ちを込めてつなぐ選手たちの思いに感動と勇気をもたらした新春のスタートでした。

この北東中学校でも、3月にはそれぞれの学年に「たすき」を渡す時がやってきます。この3学期は、その「たすき」がしっかり渡せるように、それぞれの学年でまとめをする時期です。学習面や生活面などでのやり残しがないように、やるべきことをしっかりやり遂げ、次の学年や新たな進路先につなげてほしいと思います。3学期はたいへん短く、あっという間に残り2ヶ月となりました。眼の前にある「今」を大切にし、皆さんの力で素晴らしい締めくくりになるよう、お願いします。



3学期への決意

(始業式での学年代表による決意)

<1年生：梅澤 勇吉 さん>

お正月は、家族とともにのんびりと過ごすことができました。年末年始には高校サッカーを見て、刺激を受けることもできました。いよいよ3学期が始まります。少しだらけた生活を直しつつ、2年生になるという自覚を持ちながら活動していきたいと思えます。

さて、生徒会活動の軸にもなっていました。成長していくためには、振り返り、今後の見通しを持つことが大切です。私たちも、2学期末にクラスで振り返りをしました。そこで出た課題で僕が気になったものはあいさつと積極性です。

まず、あいさつです。クラスでは朝、仲のいい友達とはあいさつができるが教室に入るとき挨拶ができない、知らない人がたくさんいます。仲がいい人とはできるのに教室に入るときに挨拶ができない。それは人間関係や習慣が原因だと思いました。クラス全体の雰囲気を作りやすくすることで、あいさつがしやすい環境をつくり教室に入るときにあいさつを習慣づける事ができると思えます。しかし良い雰囲気づくりをするためにも人間関係をより良くする必要があります。だから、3学期はもっとクラスの仲を良くしていきたいです。

次に、積極性です。今回の反省における積極性は、特に授業中の発言などのことが中心でした。僕のクラスでは発言が多くありません。発言が大切な授業でも発言が少なく、授業をよりよく楽しくするために発言を増やしていきたいです。答えがわからなく発言できない人もいますが、全員がそうではないと思うし、様々な考えを交流することが学びを深めることにつながると思えます。発言できる人から発言していくことが大切だと思います。みんなが発言できるようにリードし、みんながたくさん発言できる良い授業をつくっていきたいです。

3学期が終わればもう2年生です。2年生になれば新しく一年生が入ってきて僕達は先輩になります。僕達が入学してきてお手本にしてきた2、3年生のように新入生の手本になる2年生になるよう、学年全体で今までの学校生活より一段階レベルアップしたいです。部活動でも自分から動き出したり、発信して行って新入生のお手本となるいい2年生を目指して3学期、生活していきたいです。

<2年生：保坂 春翔 さん>

突然ですが、僕たち2年生が受験などに向けて準備する期間が残り少なくなってきたと感じます。そんな残された時間の中でも、特にこの3学期に努力したいことを考えました。

一つ目は、笑顔で生活することです。これは小さなことのように思えますが、社会に出る上での大きく大切な一歩になります。皆さん、どうでしょうか。思春期まっただ中、つついライ

ラを顔に出してしまったりすることはありませんか。僕はまだできていません。これは2年生全体に言えることだとも感じる場合があります。気持ちを表に出さないことをポーカフェイスと言います。どうしてもイライラしてしまう時は、ポーカフェイスを使う。この使い分け、心のコントロールができるように努力します。

2つめは、今学期残りの学校生活を思い切り楽しむことです。今のクラスの仲間たちとの絆はもう深いはず。絆が深い時と浅い時では楽しめる度合いが違ってくると思います、どのようなことをして楽しむかは人それぞれです。そして、この唯一無2のクラスでいられるのはこの3学期だけです。「悔いの無い3学期だった」と言って終われるようにしたいです。

このように2つの目標を達成できるように頑張ります。みなさんも3学期を有意義に、計画的に使って見てはどうでしょうか。

< 3年生：諏訪部 實 さん >

最後の中学生生活も2学期が終わり、残りは3学期のみとなりました。これまでの2学期間を振り返ってみると、無事に修学旅行に行くことができ、2葉祭や合唱祭も規制が緩和された中で実施することができ、コロナ禍の中でも今までより充実した学校生活を送ることができました。その中で、僕たち緑学年はさまざまなことを体験し「北東中の顔」としてふさわしい存在に近づくことができたと思います。しかし、時の流れは速く、中学校生活のゴールである「卒業」までに残された時間はとても少ないです。その中で、卒業を最高の形で迎えるために特に力を入れて頑張りたいことがあります。それは受験勉強です。僕は卒業を最高の形で迎え、安心して北東中から卒業するため、卒業後の進路を自分自身でしっかりと考え、決定していくことが大切だと考えています。僕は中学校を卒業したら普通科に進学しようと考えています。最高の卒業式を迎えるために、卒業後の進路について自分と向き合いながら考え、今は受験勉強を必死に頑張ろうと思います。そのために2学期よりも意識を高くもって日々の授業を大切にすることが重要であると思います。さらに限られた時間を効率よく使うことで家庭学習の質を今までよりも高める生活をしていく必要があります。

最後に、3学期はまだ最大学年としてやらなければならないことがあります。しかし、今述べたことを実行できる努力をしていきたいです。緑学年の一人一人が自分にできることと、自分がすべきことを自覚して、最後の中学校生活である1年間の中でずっと考えてきた「素晴らしい解散」のために「ともにひとりで」「逃げ道は前へ」の言葉を胸に緑学年全員で最後の3学期を頑張っていきたいです。

相川小・新紺屋小6年生が北東中を訪問！

12月15日（木）新紺屋小6年生が、1月12日（木）相川小6年生が北東中を訪問してくれました。あと数ヶ月後には1年生となる後輩に、「ようこそ、北東中に」という気持ちを持って迎えすることができました。大きな期待とちょっぴりの不安をもって臨んだ学校訪問。新紺屋小の児童は視聴覚室で、相川小の児童は体育館で北東中学校の生活について、各小学校を卒業した先輩方から説明を受けました。

相川小、新紺屋小の皆さんの目に北東中はどのように映っていたのでしょうか。



2月の予定

1日	水	公立高校前期入試① 進路学習会（2年生）
2日	木	公立高校前期入試②
7日	火	1, 2年授業3観、学年部会総会 学級懇談会
13日	月	3年期末テスト①
14日	火	3年期末テスト②
21日	火	1, 2年期末テスト 3年入試直前テスト
22日	水	1, 2年期末テスト、
24日	金	専門委員会、代議員会

恵方巻き 今年の方角は？

節分に食べられる太巻き寿司「恵方巻」は、関西を中心に食べられていましたが、今では全国に定着しつつあります。

「縁を切る」に通じないように、一本巻きに巻いた恵方巻を、その年の恵方（縁起が良いとされる方角）を向き、無言で1本食べきるのが正しい作法とされています。無言で食べるのは「話すと運が逃げていく」と考えられていたことに由来するようです。

ちなみに、今年の恵方は、「南南東のやや南」とのことです。なにやらコンパスの出番のようですね。